

第9回

日本バイオベンチャー大賞

大学発ベンチャー協会賞

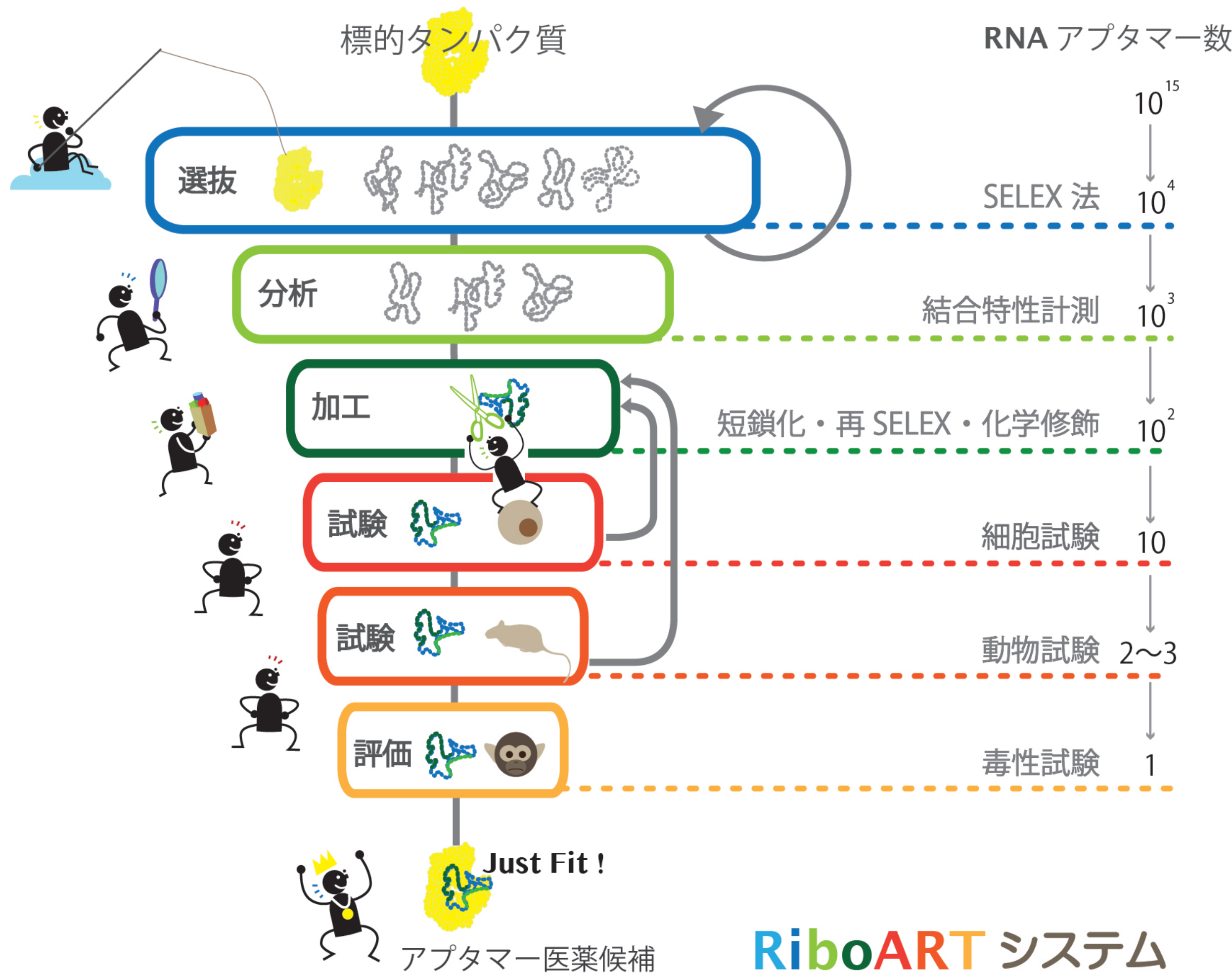
株式会社リボミック

RNA(リボ核酸)は、分子生物学の黎明期から、遺伝情報の単なるコピーに過ぎないと思われていた。しかし、10数年前からこの考えが改まり、また様々な立体構造を形成する特性(造形力)を有することが明らかになった。このRNAの造形力を利用して標的タンパク質に結合し、その作用を阻害あるいは調節できるRNA分子を「アプタマー」といい、これを成分として医薬品化したものが核酸医薬の一種「アプタマー医薬」である。

アプタマーを医薬品として開発するには、標的タンパク質への結合力及び阻害活性が高いアプタマーを選択し、また体内の酵素によって容易に分解される核酸の欠点を補正し、医薬品候補化合物として最適化する技術・ノーハウが不可欠である。

同社は、これらの技術・ノーハウを「RiboARTシステム」として集大成し、様々なタンパク質を標的としたアプタマー医薬の開発に応用している。同社は、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーとして、疼痛・線維症・血液疾患・骨疾患を始めとして、広い領域のUnmet Medical Needs(未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ)に対する革新的なアプタマー新薬の提供を目指している。

[RiboARTシステムの図]



会社概要

設立	2003年8月(証券コード4591、東京証券取引所)
本社	東京都港区白金台3-16-13 白金台ウスイビル TEL : 03-3440-3303
資本金	28億6447万円
社長	中村 義一 氏